

別表2 既存住宅性能評価料金【一戸建・長屋・併用住宅】

1. 必須現況検査料金

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

申請種別	設計図書あり
基本料金(1住戸)	150,000 (165,000)
長屋等の1住戸(2住戸以降を上記に加算)	50,000 (55,000)

2. 選択特定現況検査料金（腐朽・蟻害）

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

申請種別	設計図書あり
基本料金(1住戸)	150,000 (165,000)
長屋等の1住戸(2住戸以降を上記に加算)	50,000 (55,000)

*1 本規程第12条第4項に基づく再検査の場合は、上記金額の30%の額を加算

*2 設計図書なしの場合は別途見積り

別表3 既存住宅性能評価料金【共同住宅】

* 現況検査料金は共用部分料金+専用部分料金（共同住宅は専用部分単独では評価できません。別途作成された共用部分評価シートを添付して申請していただければ専用部分料金のみとなります）

* 共用部分評価シート作成料金は【共用部分料金】1. 必須現況検査料金と同額です。（共用部分評価シートはマンション管理組合より申請されるものです）

【共用部分料金】

1. 必須現況検査料金

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

延べ面積（㎡）	設計図書あり	延べ面積（㎡）	設計図書あり
～500	200,000 (220,000)	～20,000	900,000 (990,000)
～1,000	300,000 (330,000)	～30,000	1,000,000 (1,100,000)
～2,500	400,000 (440,000)	～40,000	1,250,000 (1,375,000)
～5,000	500,000 (550,000)	～50,000	1,500,000 (1,650,000)
～7,500	600,000 (660,000)	～100,000	2,000,000 (2,200,000)
～10,000	700,000 (770,000)	100,000超	2,500,000 (2,750,000)
～15,000	800,000 (880,000)		

2. 選択特定現況検査料金（腐朽・蟻害）

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

延べ面積（㎡）	設計図書あり	延べ面積（㎡）	設計図書あり
～500	200,000 (220,000)	～20,000	900,000 (990,000)
～1,000	300,000 (330,000)	～30,000	1,000,000 (1,100,000)
～2,500	400,000 (440,000)	～40,000	1,250,000 (1,375,000)
～5,000	500,000 (550,000)	～50,000	1,500,000 (1,650,000)
～7,500	600,000 (660,000)	～100,000	2,000,000 (2,200,000)
～10,000	700,000 (770,000)	100,000超	2,500,000 (2,750,000)
～15,000	800,000 (880,000)		

【専用部分料金】

3. 必須現況検査料金

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

申請種別	設計図書有
1住戸	60,000 (66,000)

*1 本規程第12条第4項に基づく再検査の場合は、上記金額の30%の額を加算

*2 設計図書なしの場合は別途見積り

別表 4-1 選択項目評価料金【個別性能評価】

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

評価項目		一戸建・長屋・併用住宅	共同住宅
1. 構造の安定	1-1 耐震(倒壊) 1-2 耐震(損傷) 1-3 免震(*1) 1-4 耐風 1-5 積雪	150,000 (165,000)	別表 4-2
	1-6 地盤、杭 1-7 基礎構造、形式	30,000 (33,000)	60,000 (66,000)
2. 火災時の安全	2-1 警報(自住戸) 2-4 脱出(火災時) 2-5 耐火(開口部) 2-6 耐火(開口部以外)	戸当り 30,000 (33,000)	戸当り 60,000 (66,000)
	2-2 警報(他住戸火災時)	—	
	2-3 避難(他住戸火災時・共用廊下)		
	2-7 耐火(界壁・界床)		
3. 劣化の軽減	3-1 劣化(躯体)	50,000 (55,000)	100,000 (110,000)
4. 維持管理更新	4-1 維持管理(専用)	30,000 (33,000)	戸当り 20,000 (22,000)
	4-2 維持管理(共用)	—	100,000 (110,000)
	4-3 更新(共用排水) 4-4 更新(専用部)		
5. 温熱環境 エネルギー消費量	5-1 断熱	戸当り 60,000 (66,000)	戸当り 30,000 (33,000)
	5-2 一次エネ	戸当り 60,000 (66,000)	戸当り 30,000 (33,000)
6. 空気環境	6-2 換気(局所)	戸当り 10,000 (11,000)	
	6-3 化学物質 6-4 石綿建材 6-5 石綿粉じん	別途見積	
	7. 光視環境	7-1 開口率 7-2 開口比	戸当り 30,000 (33,000)
9. 高齢者等配慮	9-1 高齢者(専用)	戸当り 30,000 (33,000)	戸当り 10,000 (11,000)
	9-2 高齢者(共用)	—	100,000 (110,000)
10. 防犯	10-1 侵入防止	戸当り 30,000 (33,000)	戸当り 10,000 (11,000)

*1 1-3 免震の評価は、直近の免震建築物の点検結果報告があるものに限る

*2 本規程第 12 条第 4 項に基づく再検査の場合は、上記金額の 30%の額を加算

*3 設計図書なしの場合は別途見積り

別表 4-2 評価料金【構造の安定】

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

延べ面積 (㎡)	料金
～500	150,000 (165,000)
～1,000	200,000 (220,000)
～5,000	300,000 (330,000)
～10,000	400,000 (440,000)
～50,000	500,000 (550,000)
50,000 超	600,000 (660,000)

別表 5 長期使用構造等確認料金【増築・改築・既存】

税抜金額（カッコ内は税込）単位：円

戸建住宅・併用住宅の住宅部分	共同住宅・長屋
160,000 (176,000)	住棟 300,000 (330,000) + (住戸 20,000 (22,000) × 戸数)

別表6 増額率 評価料金等の増額率は、次のとおりとする。

内容	建設住宅性能評価	長期使用構造等確認
(1) 申請者の依頼その他の事由で、第3条に定める休日に評価を行うとき	20%	20%
(2) 申請者の依頼により短期間にて評価を実施するとき	20%	20%
(3) 申請者の非協力その他 ERIS の責に帰すことのできない事由により業務期日が延期したとき	100%	100%
(4) 申請者の依頼その他の事由で、建設住宅性能評価又は長期使用構造等確認審査中に再審査が必要となったとき	100%	100%
(5) 前各号に定めるもののほか、別表2以下に定める評価料金等に含まれない業務を実施しなければならないとき	業務量を勘案して増額	業務量を勘案して増額

<別表注意事項>**【出張費】**

* 出張費は、交通費及び宿泊費の実費の金額とする。

検査対象物件が第4条に規定する事務所から直線距離で50km以遠の区域の場合は、原則として、交通費及び宿泊費に、検査員1名につき1日あたり10,000円（税込11,000円）を加算する。

【再交付】

* 住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則第7条第4項又は同条第5項に基づき建設住宅性能評価書を、同規則第7条の4第2項に基づき長期使用構造等確認書の再交付を行う場合の料金は、一通につき10,000円（税込11,000円）とする。

やむを得ない事由により、記載事項（評価に影響のない範囲に限る）を修正して再交付を行う場合は、一通につき20,000円（税込22,000円）とする。